

USA Regionals 2016 / USA School&College Nationals 2016 競技規定 -Show Cheer-

赤字: Regionals/Nationals 2015からの変更
緑字: 2016年夏より適用開始

大会参加にあたり、参加選手及び監督・コーチ・振付をおこなう方は、この競技規定をよく読み遵守すること
演技構成については、「演技規定」を確認すること

大会参加指針

- すべての参加者は、スポーツマンシップ・チアスピリットに則り行動すること
スポーツマンシップに著しく反する行為は、参加資格剥奪の対象となる
- コーチ・指導者は、技術レベルの向上を図る以前に、個々の選手とチームとしての能力レベルを考慮し、演技全体のパフォーマンスレベルを決定する義務がある
- 大会期間中、適正な引率者・監督・コーチが付き添うこと
- 顧問・監督・コーチは、父兄及びその他関係者がしかるべく行動をするよう監督すること
また、選手が負傷した場合、迅速に対応できるよう対策を立てておくこと
- 演技構成／曲目／衣装などは全ての観客に対して適切であり、演技者の年齢相応のものであること
- 年齢規制違反が発覚した場合は、審査対象外となる
- 下品／みだらな振付や曲目／曲中の言葉が常識範囲外とみなされた場合は減点・失格の対象となる
不適切な単語を曲中から除いて効果音を入れた場合でも同様である
- 著しくルールやマナーに反した事項が発覚した場合には警告もしくは審査対象外となる場合もある

チーム責任者及び出場者(未成年の場合は保護者)・関係者は以下の事項に同意した上で大会に参加すること

- 一. チアリーディング・ダンスが、怪我や病気等の危険を伴うものであることを十分理解し、上記の期間の活動中に被った身体的・物質的障害について、チームもしくは個人に過失がある場合はもちろん、主催者が判断・指示したにも関わらず、不可避免的に生じた場合も、その責任の一切は主催者及び大会施設側に対し問いません
- 二. 大会期間中における天災などの不測の事態により事故や怪我する可能性があることを認識しています。その際に生じたあらゆる身体及び精神的傷害について、主催者・大会施設側に対し一切責任を問いません
- 三. 大会参加中の盗難や紛失については、自責・他責に関わらず主催者・大会施設に対して一切の責任を問いません
- 四. 大会において、主催者もしくは主催者が認めた報道機関により撮影された画像・動画に関しては主催者による広報制作物、また報道を目的とするメディア媒体等への利用を認め、肖像権等の権利主張を行わないことを承諾します。なお、主催者が認めないメディア媒体に無断掲載された場合は、一切の責任を主催者に問いません
- 五. 大会の審査結果(得点・順位)は、審査員の迅速で公平な決定による最終的なものであり、見直しの請求は行えないことに同意します

1. 出場資格

- ◇ 2016年3月31日まで、その学校の生徒であること
- ◇ 学校団体から認可を受けているチームで、5名以上36名以下で構成されていること
- ◇ 性別は問わない
- ◇ 1人が同一編成・同一部門の2チームにエントリーすることはできない
- ◇ 同一の学校からShow Cheer部門(Novice/Advance問わず)にエントリーできるチーム数は、3チームまでとする

2. 編成・部門

<編 成>

中学校編成	全員が同一学校の中学生であること
高校編成	全員が同一学校の高校生であること ※中高一貫校で中学生が高校生と同じチームで出場する場合は、高校編成にエントリーすること
大学編成	全員が同一学校の大学生であること ※短期大学・専門学校は大学編成に含まれる

<部 門>

部 門 名	特 徴	ガイドライン
Show Cheer - Novice部門	編成毎に規定されたタンブリング・スタッツの 難度制限の範囲で行う演技	『AACCA 小中高チーム安全規約』 『AACCA 大学チーム安全規約』 『難度規定』
Show Cheer - Advance部門	編成毎に規定された最高難度のタンブリング・ スタッツが実施可能な演技	『AACCA 小中高チーム安全規約』 『AACCA 大学チーム安全規約』 ※中学校編成は『難度規定』も参照要

※詳細は『AACCA安全規定』『難度規定』を確認し、自チームの個々の選手とチームとしての能力レベルを考慮し、いずれかを選択すること

3. 演技内容

- ◇ 音楽や振り付けは、スポーツシーンに合った内容で、演技は全ての観客のために適切かつエンターテインメント性に富んでいなければならない
- ◇ チアリーディングの要素(アームモーション、スタッツ、タンブリング、コール、ダンス、ジャンプ等)を組み入れた構成とすること
- ◇ 演技内に1箇所はコールパートを含めること
観客参加型のスタイルが望ましい(サインボード、スペルアウト、Crowd Response Cheer 等)
- ◇ 中学校編成、高校編成は音楽使用可能時間は1分30秒以内 とする
大学編成は音楽使用可能時間の制限はない

4. 衣装・身だしなみ

- ◇ 学校応援に適したユニフォームを着用
- ◇ ユニフォームにアクセサリやユニフォーム以外の衣類を着用するのは禁止
- ◇ 中学校・高校チームは、直立(腕を下ろした)姿勢で腹部まで覆われた衣装を着用すること(2016年夏より適用開始)
出場部門(全競技部門、審査対象外部門も含む)に関わらず、このルールは適用される(大学チーム以外)

5. 手具・小道具

- ◇ フラッグ、バナー、サインボード、ポンポン、メガホン、カットした布のみ使用可
- ◇ 鋭い角があるような硬い素材でできた小道具(サインボード等)を手から離すときは、静かに投げるか置くようにし、常にコントロールできる状況を維持すること

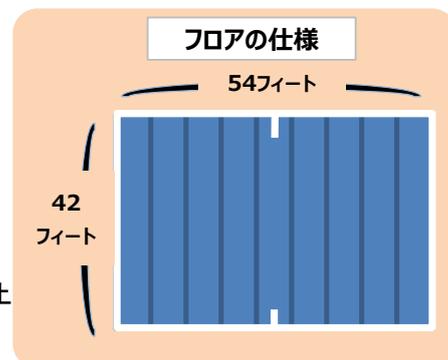
6. セーフティールール

- ◇ 各編成で定められた、『AACCA安全規約』『難度規定』の内容に適した演技構成とすること

	中学校編成	高校編成	大学編成
AACCA 安全規約	AACCA 小中高校チーム安全規約		AACCA 大学チーム安全規約
難度規定	中学編成 難度規定	高校編成 難度規定	大学編成 難度規定

7. 演技フロア

- ◇ 奥行42フィート(12.8m)×幅54フィート(16.5m)のチアマット上となる
(フロア内の縦横の白ラインは廃止、フロントにセンターの印あり)
- ◇ スタッツおよびタンブリングはチアマット上で実施すること
- ◇ 演技に無関係なアイテムの演技フロアへの持ち込みは禁止
【例】チームのぬいぐるみ、手具として使用しない小道具など
- ◇ メンバー全員で演技フロアに入場し、演技中の出入りは不可
- ◇ 演技者以外のフロアへの立ち入り及び演技者以外が演技に関わる行為は禁止
【例】演技者以外の手具・大道具の設置補助や選手への指示出しなど



8. 演技時間

- ◇ 演技時間は、1分45秒以上 2分30秒以内 とする
- ◇ 計測方法は、音楽または動作の開始をもって開始し、音楽・動作の両方の完了をもって終了とする
- ◇ チーム名が読み上げられたら、メンバー全員で速やかにフロアに入場すること
- ◇ フロアへの入場・退場は、合わせて30秒以内に速やかに行うこと

9. 演技の中断・再演技

- ◇ 運営側の問題(音響機材や施設の不備・故障など)や不測の事態で演技が妨げられた場合、改めて最初から1曲通して演技をすることができるが、審査は演技中断以降の部分のみが対象となる
- ◇ チーム側の問題(道具の不備やチームの責任による障害など)が発生した場合については、チームは演技を続ける必要がある
場合によっては、チームは再演技の申請ができるが、その場合は、「演技順の変更の申し出」として減点3点が課せられる
この再演技の場合は、1曲通しての再審査となる
- ◇ 怪我が原因で演技が中断してしまった場合、改めて最初から1曲通して演技することができるが、審査は演技中断以降の部分のみが対象となる
チームの判断で辞退することもできるが、怪我の程度によっては大会運営側が再演技を認めない権利を持っている
- ◇ 再審査が演技中断以降のみの場合も、演技は予定の内容を1曲通して行うこと(怪我の影響部分は除く)
審査は、ジャッジによって決定された怪我・演技中断が発生した時間から再開する
演技中断までに発生した減点はすべて反映される
原則、演技は開始からすべてのスキルを実施しなくてはならないが、すべてのスキルが行えなかった場合
そのチームの得点をどのように取り扱うかについては、大会関係者の判断によって決定される
- ◇ すべての再演技の判断(実施の有無・タイミングなど)は、大会運営側が行い、チームの承諾を得て行うものとする

10. 減点 (Regionals/Nationals共通)

- ◇ 競技・演技規定から外れた項目に対して、1か所につき3点が減点される
(審査員の平均得点から減点される)
- ◇ 演技の実施(完成度)に対する減点は、1カ所につき0.5点～2点が減点される
※詳細は『Show Cheer部門 演技の実施減点ガイドライン』参照
- ◇ 違反の内容によっては、減点ではなく警告または審査の対象外となる場合もある

11. 審査方法（地区大会/Regionals）

- ◇ 得点算出方法は次の通り ①審査は編成・部門毎3名で行う
②3名の審査員の平均点（減点があれば減点した点数）がチームの得点となる
- ◇ 各大会において、エントリー数によってはオープンカテゴリー（※）となる場合がある
※オープンカテゴリー …… 各編成のエントリー数が3チームに満たない場合、複数の部門や編成を合わせて、1つの部門（オープンカテゴリー）として独立させること
その中で高得点順に順位が決定（審査基準は各チームのエントリー部門の内容に基づく）

12. 評価・表彰・全国大会進出基準（地区大会/Regionals）

<評 価>

- ◇ 評価は、競技部門を対象に、チームの得点に基づき以下の通り行う（3区分）
評価の記したリボンを登録メンバー（選手・補欠）分お渡りする

チームの得点	区分
87.00 ～100.00	Superior
72.00 ～ 86.99	Excellent
～ 71.99	Outstanding

- ◇ 再エントリーについては、演技に対する評価リボンの配布はありません
- ◇ 審査対象外部門（Half-Time USA）は、公認インストラクターによるコメントシートをお渡りする（得点は出ません）
また、スピリットにあふれるチーム・会場を盛り上げたチームは「グッドスピリットチーム」として表彰します

<表 彰>

- ◇ 表彰は、各地区大会において各編成・部門毎に、得点の高い順に上位3位までを入賞とする
- ◇ 出場チームが3チーム未満の場合は、その出場数分が表彰される
- ◇ Regionalsの順位は、チームの得点（減点后）をもって決定する
- ◇ 入賞以外に特別賞（ベストインプレッション賞・チアアップ賞）を設けるものとする
特別賞の数は、大会・各編成・部門のエントリー数によって変動する
- ◇ DVD審査・再エントリーに関しては、入賞・特別賞の表彰はありません
審査内容・全国大会進出など結果のお知らせについては、郵送・またはメールにて行うものとする

<全国大会進出基準>

- ◇ 全国大会進出については、入賞・特別賞の受賞と関係なく、
チームの得点がエントリーしている編成・部門の進出基準得点以上であることが条件となる
- ◇ 進出を判定する点数は、チームの平均点から演技の完成度に対する減点をした得点である
（競技・演技規定違反の減点は反映されない）
但し、演技構成において問題があると主催者が判断した場合はこの限りではありません
- ◇ 全国大会進出チームの発表は、各大会の入賞・特別賞の表彰の後に、アナウンスにて行う
- ◇ 各編成・部門における進出基準得点は**75点**とする
- ◇ 全国大会（Nationals）の開催日は、以下の通り
■セミファイナル……2016年3月25日（金） ■ファイナル……2016年3月26日（土）
■開催場所……幕張メッセ イベントホール（千葉県千葉市）

13. 審査方法（全国大会/Nationals）

- ◇ 得点算出方法は次の通りとなる
① 審査は各編成・部門毎6名で行う
② 6名の審査員の最高点・最低点をカットした4名の平均点を得点とする（減点がある場合は平均点から減点）
- ◇ エントリー数によってはオープンカテゴリーとなる場合もある
- ◇ 演技順は、原則として編成・部門毎にRegionalsの得点の低い方から始まるが、この限りではない

<セミファイナルについて>

- ◇ エントリー数が多い編成・部門については、セミファイナルを行うものとする
- ◇ セミファイナル開催日………2016年3月25日(金)
- ◇ セミファイナル実施部門は、Regionalsの全エントリー受付後にホームページにて発表する(12月中旬頃)
　　<昨年の実施部門> 高校編成 Song/Pom部門(S/M/L)、Hip Hop部門(S/L)
- ◇ セミファイナルからファイナルへの進出枠は、各編成・部門毎に半数を予定
　　(当日の全演技が終了後、アナウンスにてファイナル進出チームを発表)
- ◇ セミファイナル実施チームの3/26ファイナルの演技順は、3/25セミファイナルの演技順同様となる
　　(セミファイナルの得点は反映されない)

14. 表 彰 (全国大会/Nationals)

- ◇ 表彰式は、3月26日(土)ファイナルの日に行う
- ◇ 各編成・部門毎に得点の高い順に入賞が決定
- ◇ 編成毎に1チームを「グランプリ」として表彰する
　　(中学校編成・高校編成・大学編成から各1チームずつ選出)
- ◇ 入賞以外に特別賞を設けるものとする
- ◇ 海外大会への出場推薦枠を設ける

表彰内容の詳細については、3月中旬頃に発表となります

以上